

区分別科目(必修科目):在宅・慢性期領域パッケージ

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目(研修期間:6か月)

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	7	—	5 症例	1(OSCE)	8+5 症例
ろう孔管理関連	14.5	—	5 症例	1.5(OSCE)	16+5 症例
創傷管理関連	24	—	5 症例	2(OSCE)	26+5 症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+5 症例

* 区分別科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。実習(患者に対する実技)は関連する講義・演習(ペーパーシミュレーション)・手技練習(模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習)を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。OSCEのある科目に関しては、実習(患者に対する実技)の前に OSCE に合格する必要がある。その後、修了試験に合格する。